

平成30年3月期第2四半期
決算説明資料

MINATO

平成29年11月10日

ミナトホールディングス株式会社

売上高

前年同期比 **78%**増

営業利益

前年同期比 **3.3**倍

経常利益
純利益

前年同期赤字から**黒字化**

【主な要因】

- メモリーモジュール事業のDRAM及びNAND価格の上昇及び販売数の増加
- オートハンドラの大型案件やデバイスプログラマ及び変換アダプタの販売が好調

(百万円)

連結業績	平成29年3月期 第2四半期	平成30年3月期 第2四半期	コメント
売上高	3,377	6,038	前年同期比78%増
売上総利益	561	609	メモリーモジュール関連の部材供給不足により売上原価が増加
販管費	548	568	売上高および利益の伸びに比べ、販管費の伸びを抑制
営業利益	12	41	前年同期比3.3倍
経常利益	△56	36	前年同期の赤字から黒字に転換
純利益	△71	18	

(百万円)

セグメント別業績		平成29年3月期 第2四半期	平成30年3月期 第2四半期
メモリーモジュール	売上高	2,351	5,030
	営業利益	124	127
デバイス	売上高	316	376
	営業利益	23	59
タッチパネル	売上高	363	281
	営業利益	13	5
システム開発	売上高	349	325
	営業利益	22	8

<メモリーモジュール関連>

コンピュータ記憶装置のDIMM及びSSDの主要調達部材であるDRAM並びにNANDの需給が引き締まったことにより、製品価格の上昇及び販売数が増加し、当初見込みを大きく上回る売上実績となった。また、部材の供給不足により調達価格が上昇しているものの、販売価格への転嫁が進み、1Qに比べ営業利益率は1.9%から2.9%へ改善。

<デバイス関連>

新オールインワンハンドラの納入やプログラマ及び変換アダプタの販売が拡大しており、売上高は前年同期比19%増、営業利益は158%増と好調に推移。

<タッチパネル関連>

大手ディスプレイメーカー向け大型タッチパネルやATM及びアミューズメント向け中小型タッチパネルの受注台数が減少した影響で前年同期を下回る実績となったものの、大型タッチパネルやデジタルサイネージの受注、引合いは増加。

<システム開発関連>

従来の人材派遣型ビジネスに加え、受託開発を拡大したが、新規受託開発案件の採算悪化等の影響で前年同期を下回る結果となった。今後はプロジェクト管理を強化し、収益改善に取り組む。

(百万円)

	前回発表予想	今回修正予想	コメント
売上高	8,229	11,000	33.7%増
営業利益	156	156	
経常利益	112	112	前回発表予想から据え置き
純利益	80	80	

ミナトホールディングス株式会社

JASDAQスタンダード：6862
<http://www.minato.co.jp/>

IRに関するお問い合わせ・各種取材のお申込みは、
広報マーケティンググループまでお願いいたします。
TEL:03-5847-2030 FAX:03-5652-1574

<注意事項>

本資料に記載されている将来の予測や見通しにつきましては、現在入手可能な情報から得られた当社の経営者の判断に基づいており、見通しの達成を保証するものではありません。実際の業績は、これら業績見通しとは異なる可能性があることをご了承ください。